

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウスおおばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	<p>毎回運営推進会議で話題となる高校生の危険な自転車運転とホーム周辺へのごみの不法投棄であるが、ホームと自治会の地道な取り組みで改善の兆しが見えてきた。元に戻らないよう、今後もホームは注視を続ける方針である。</p> <p>地域の子どもの楽しみとなっている「お月見泥棒」は、付き添いの保護者も含め、用意した50個のお菓子があつという間になくなるほどの盛況であった。</p>	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	<p>毎奇数月に運営推進会議が開催されているが、6回のうちの3回は同法人の経営する近隣ホームとの共催である。</p> <p>地域包括支援センターの職員や民生委員児童委員に交じって、参加した利用者が意見や要望を述べている。</p>	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	<p>市や区との連絡・調整は、その大部分を法人本部の本部長が役割として受け持っており、継続して良好な関係が構築されている。</p> <p>生活保護受給者が4名利用しており、区の担当者がホームを訪問して状況把握に努めている。</p>	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	<p>家族のホーム訪問は頻繁にあり、職員はその都度丁寧な対応を心がけ、家族から貴重な意見や要望を聞き取っている。</p> <p>法人内の3ホームが日帰りのバス旅行を合同で企画し、当ホームの3家族がバス旅行に帯同した。</p> <p>毎月「サポートハウス通信」が発行されており、利用者の近況を家族に伝えている。</p>	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>(例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎